

各位

会社名 フィールズ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 山本 英俊
(コード番号:2767 東証第一部)
問合せ先 執行役員 グループ経営管理部副部長 畑中 英昭
(電話 03-5784-2111(代表))

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定されております株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)では当該市場における「流通株式時価総額」の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

(1) 当社の上場維持基準の適合状況

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおり「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。

	株主数	流通株主数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の状況 (移行基準日時点)	9,091人	175,677単位	87.5億円	50.6%	1.1億円
上場維持基準 (プライム市場)	800人	20,000単位	100億円	35.0%	0.2億円
計画書に記載の項目			○		

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※○印は基準未達の項目

(2) 計画期間

当社は、「流通株式時価総額」に関し、2025年3月期までに上場維持基準を充たすための各種取り組みを進めてまいります。

2. 上場維持基準の適合に向けた基本方針、課題および取組内容

(1) 基本方針

プライム市場上場維持基準である「流通株式時価総額」は、「流通株式比率」および「時価総額」で構成されております。当社は、このうち「流通株式比率」については上表のとおり基準を充たしており、残る「時価総額」の向上、すなわち「企業価値」と「株価」の向上が課題であると認識しております。よって、以下3点を基本方針とした各種施策に取り組むことで、プライム市場上場維持基準の達成を目指します。

- ① 当社および当社グループは、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に資する施策を迅速・果断に推進してまいります。
- ② 安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、株主の皆様にも適正な配当水準による株主還元の実現を図ってまいります。
- ③ プライム市場企業に求められるコーポレート・ガバナンスの充実・強化を図ってまいります。

(2) 取組内容

① 持続的成長と中長期的な企業価値向上に向けて

当社および当社グループは、2018 年度に経営体制を刷新し、持続的な成長を目指して経営改革の諸施策を継続的に実行してきました^{※1}。具体的には、以下の3施策となります。

I. グループ経営の選択と集中の実行

2018 年度からの経営改革では、グループ経営における選択と集中を実行してきました。すなわち、当社はパチンコ事業の流通分野に特化するとともに、今後の成長ドライバーとなる IP 事業は、(株)円谷プロダクションと(株)デジタル・フロンティアに集約・集中させました。

II. グループ企業における商品力・技術力の強化

グループ経営の選択と集中を実行する中、将来期待される市場やお客様の嗜好を汲み取り、収益性の高い事業を展開するため、グループ各社の持つ商品・サービス、技術力の強化に取り組んできております。あわせてグループ間での人材や組織を超えての連携も強化しております。

とくに、パチンコ事業における商品力強化につきましては、2018 年2月の新規則施行を受けて、我が国がまさに直面している成熟社会における余暇のあり方（適度な時間消費と金額消費）に基づくファンの顧客満足とホールの収益性を二本柱とする企画に立脚した「良い商品」を安定的に供給するため、商品企画・開発力の強化を最重要課題とし、そのプロセスを抜本的に改革、販売・開発一体となった組織づくりを進めてきました。

III. 継続的なコスト削減施策の実施

当社グループは、それぞれの事業分野を取り巻く市場環境が著しく変化した場合においても、持続的な成長ができる筋肉質な経営体質をめざし、従来からあらゆる事業、業務のコストを見直し、削減してまいりました。

こうしたグループ経営改革の効果は、着実に表れてきておりますが、さらに本年度からは「PS^{※2} 事業」と「IP^{※3} 事業」の2つの大きな柱に事業ドメインを再構成し、「成熟市場下での安定的な PS 事業の基盤構築」と「IP 企業へのシフト」を掲げて、強くスピーディに推し進めております。

「PS 事業」については、今後の環境変化に即した商品企画・開発、マーケティングプロモーション、販売、保守に至る活動プロセスの根本的な見直しを行い、そのプロセスを DX（デジタル・トランスフォーメーション）化していくことで、成熟市場においても効率的に収益を確保し、持続的な成長が可能な事業基盤の構築を実行しております。

「IP 事業」については、(株)円谷プロダクションと(株)デジタル・フロンティアの2社をグローバルな IP 企業として育成することにフォーカスしております。とくに、円谷プロダクションについては、「大型新規 IP の開発」「デジタル領域へのシフト」「中国・アジア・北米を中心とした海外展開」が進捗しております。これら世界的にもニーズがあり成長余力の大きな円谷プロダクションの IP を新たなビジネスモデルと共に育てることにフォーカスし、そこで得られた知見や仕組みを次のステップで拡張・横展開することによって、当社グループが IP 企業にシフトしていく展望を持っております。

これら取り組みを通じたさらなる成長と企業価値向上を目指して、現在、当社および当社グループにおいては、ウィズコロナおよびアフターコロナ時代のエンタテインメントの在り方に基づき、2023 年3月期から2025 年3月期を最終年度とする3カ年中期事業計画（以下、「本中計」）を策定中です。本中計に基づいた各種戦略や施策を確実に実行していくことで、収益の向上ならびに企業価値の向上を図ってまいります。なお、本中計は、2022 年5月を目処に発表する予定です。本計画書につきましても、本中計が発表され次第、より具体的な取り組みや業績計画数値等を反映し、見直す予定です。

※1 詳細は2021年11月11日付「2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

https://www.fields.biz/ir/j/files/press/2021/press_20211111a.pdf

※2 PS：パチンコ・パチスロの略称

※3 IP：Intellectual Property（知的財産）の略称

② 株主還元の充実

当社の配当（利益分配）に関する基本方針は、企業価値の向上を経営の重要課題と位置付け、利益に応じた適正な配当を行うこととしております。

当社は、事業拡大に向けた事業投資を適時的確に実行するための内部留保を確保する一方で、業績改善の進捗にあわせ、配当性向および1株あたり配当額の引上げを都度検討してまいります。

③ コーポレート・ガバナンスの充実・強化

東京証券取引所は、プライム市場を「多くの機関投資家の投資対象となり得る規模の時価総額（流動性）を持ち、より高いガバナンス水準を備え、投資家との建設的な対話を中心に据えて持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場」と定義しています。

当社は、この定義を理解し、実践に向けた取り組みを継続してまいります。とくに「より高いガバナンス水準を備え」に向け、2021年6月に改訂された「コーポレートガバナンス・コード」のなかで、プライム市場にのみ適用、あるいはプライム市場に加重される原則について、実施に向けて取り組んでまいります。詳細につきましては、当社IRサイトに掲載しております「コーポレート・ガバナンス報告書」*をご参照ください。

※当社IRサイト内「CSRへの取り組み」ページ <https://www.fields.biz/ir/j/csr/governance/>

(注)本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以上

◆本件に関するご連絡先◆

フィールズ株式会社 グループ経営管理部 IR課
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番17号 渋谷ガーデンタワー
電話番号:03-5784-2109 FAX番号:03-5784-2119